

令3 高等学校看護 (4枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Aさん(60歳・男性)は、1か月前より **a** 左上腕から前腕尺骨側に向けて広がるような痛みがあった。かかりつけ医から労作性狭心症の傾向があると指摘され、内服治療を開始した。頓服のニトログリセリンは処方されたが、使用しなかった。数日前の夕方、胸部に激痛が走り、**b** ニトログリセリンを使用した痛みはひどくなる一方で、救急車を呼び、受診した。12誘導の心電図検査の結果 **c** $V_1 \sim V_5$ でSTの上昇が認められたが異常Q波はなく、急性心筋梗塞のため緊急入院となった。入院後、左大腿動脈からPCI(経皮的冠状動脈インターベンション)が行われ、術後はCCUに3日間入院後、一般病棟に移った。

- 下線部 **a** を専門用語で書きなさい。
- 次のうち労作性狭心症の説明として適切でないものはどれですか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A 痛みが徐々に始まり徐々に消失する。
I 30分以上胸痛が持続する。
ウ 胸骨部の痛みがある。
E ニトログリセリンを舌下投与すると10分以内に症状が消失する。
- 下線部 **b** のニトログリセリンの作用を書きなさい。
- 下線部 **c** より、心筋が障害されてどれくらい経過していると判断できますか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A 2~3時間以内 **I** 数時間 **ウ** 数日 **E** 数か月
- Aさんの梗塞部位は下記のうちどれですか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A 右心室 **I** 左室下壁梗塞 **ウ** 左室側壁梗塞 **E** 左室前壁梗塞
- PCIを受けたAさんは2時間後に「あおむけに寝ているから腰が痛い」と訴えた。バイタルサインは安定している。このときのAさんへの対応で適切なものはどれですか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A 膝の屈伸運動を促す。
I 穿刺部位の圧迫を除去する。
ウ 腰部にバスタオルを入れる。
E ゆっくり側臥位になるよう促す。
- PCI後4日目、Aさんは病棟内での200mの歩行が許可された。歩行後も胸部症状の出現や心電図の変化は認めない。このような状態のAさんを生徒が臨地実習で受け持つこととなった。生徒から「明日からウエイトトレーニングを中心とした病棟内リハビリテーションを行いたい」と相談があった。あなたが生徒に指導、助言する際のポイントを2つ書きなさい。

II 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

山間部の地域で、1時間雨量80mm以上の降雨で土石流が発生し、地域の住民は近くの避難所に避難した。避難所には近くの **a** 災害拠点病院から医師と看護師が派遣された。

- 発災直後の避難所で対応する看護師の行動で最も適切なものはどれですか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A ボランティアを手配する。 **I** 災害給付金の説明をする。
ウ 心のケアに時間をかける。 **E** 重症度に応じて診療の優先順位をつける。
- 発災後3週間が経過した。避難所で身近に支援してくれる人がいない高齢者の心のケアとして、最も重要なものはどれですか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A 認知行動療法を行う。 **I** 自分が助かったことを喜ぶように説明する。
ウ 災害発生時の状況について詳しく聞き取る。 **E** 長年親しんだものの喪失について話せる場をつくる。
- 土石流で家を失った被災者は、避難所から仮設住宅へ移動した。看護師が仮設住宅の巡回訪問を行うことになった。災害の慢性期(復興期)の看護師の巡回訪問の主な目的として、適切でないものはどれですか。次の **A** ~ **E** から1つ選んで、その符号を書きなさい。
A 感染症を予防する。 **I** 救援物資を届ける。
ウ 室内の安全性を確認する。 **E** 生活習慣病の重症化を予防する。
- 下線部 **a** について正しいのはどれですか。次の **A** ~ **オ** から2つ選んで、その符号を書きなさい。
A 広域災害医療に対応する。 **I** 災害発生時に指定される。
ウ 医療救護班の派遣機能をもつ。 **E** 免震構造であることが指定要件である。
オ 救急救命士の配置が義務付けられている。
- 発災後1か月が経過した。避難所で生活する4歳の男児に夜泣きが始まり、友達とよくけんかをするようになった。また半壊家屋の片づけをしている母親から離れない。この男児の状態をアセスメントしなさい。

令3 高等学校看護 (4枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Bさん(82歳・女性)は、7年前、歩きにくさが気になり受診したところ、パーキンソン病と診断され、**a**レボドパ製剤と抗コリン薬の内服を開始した。その後、徐々に病状は進行し、手の震えや関節を曲げる際に抵抗がみられるようになった。また、動作は緩慢となり、前傾姿勢がみられ、**b**歩行し始めが困難で、足が前に出にくくなった。最近、嚥下障害が徐々に進行し、**c**胃瘻造設目的で入院となった。

1 次の文章は、パーキンソン病の病態について説明したものである。空欄①～③に当てはまる語句を、あとの【語群】ア～カから選んで、その符号を書きなさい。

パーキンソン病は、線条体〔尾状核と(①)〕に(②)を供給している中脳の(③)にあるメラニン含有神経細胞が脱落・変性することによって生じる。

【語群】 ア 被殻 イ レンズ核 ウ 酸素 エ ドパミン オ 白質 カ 黒質

2 パーキンソン病の主要な運動症状を4つ書き、それぞれの症状についての記述を1つずつ事例の文中より抜き出しなさい。

3 下線部**a**の長期服用により生じやすい次の(1)～(3)の症状について、専門用語に言い換えなさい。

- (1) 薬の効果時間が短くなり、内服後一定時間がたつと動けなくなる。
- (2) 突然薬の効果が切れて動けなくなる。
- (3) 薬が最も効いているときに手足や舌・口唇が勝手に動く。

4 下線部**b**の症状を軽減させる練習をするときに、看護師が行う助言で適切なものはどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 歩行器を使うよう勧める。 イ 「いち、に、いち、に」とリズムをとりながら歩くように勧める。
ウ 介助者と手をつないで歩くよう勧める。 エ 歩行時はかかとから足をつくよう勧める。

5 下線部**c**について、Bさんの身体状態から、家族への説明として適切なものはどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 胃瘻を造設すると、自宅療養時の家族の負担は軽減する。 イ 胃瘻を造設すると、口腔ケアは必要ない。
ウ 注入時間は、家族の都合で調整できる。 エ 輸液ラインのある場合、胃瘻のチューブに誤接続しないように注意する。

6 Bさんは、経口摂取の許可がでていたため、家族がBさんに「ゼリーを食べさせたい」と相談があった。Bさんのベッド上での経口摂取の際に適した体位・姿勢とその理由を書きなさい。

7 Bさんは最近「尿意はあるが尿が出にくく、気がつくと尿が漏れている」と訴えている。対応として適切なものはどれですか。次のア～オから2つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 残尿量を調べる。 イ 骨盤底筋運動の指導をする。 ウ おむつの着用を勧める。
エ 抗コリン薬の服薬状況を確認する。 オ 2ℓ/日以上水分摂取を勧める。

Ⅳ 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Cさん(68歳・男性)は、50歳のときに慢性腎不全の診断を受けた。その後、徐々に進行し、8年前から**a**医師より透析を勧められ、自宅で腹膜透析を行っている。2年前より訪問看護を週に1回利用している。

1 下線部**a**について、慢性腎不全で透析導入を判断するときの指標となる検査はどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 尿酸(UA)値 イ 糸球体濾過値(GFR)
ウ 点滴静注腎盂造影(DIP) エ PSP(フェノールスルホンフタレイン)15分値

2 訪問看護の際、Cさんへの声かけとして最も適切なものはどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア 「カリウムの制限が厳しいですね。食事で困っていることはありませんか」
イ 「シャント側の腕で重い荷物を持たないようにしていますか」
ウ 「体重は毎日測定できていますか」
エ 「血液透析に比べ、週あたりの透析回数が少ないですが、生活上負担はありませんか」

3 Cさんに次の(1)～(3)の症状がみられた場合、疑われる合併症は何か、それぞれ書きなさい。

- (1) 排泄の混濁・発熱・下痢など (2) 排液量の減少 (3) 関節や骨の痛み

4 訪問看護の際に、Cさんは吐き気・嘔吐、腹痛などの症状がみられ、医師より被嚢性腹膜硬化症と診断された。Cさんになぜこのような症状が生じるのか、説明しなさい。

5 医師より血液透析導入の可能性について説明があり、Cさんや家族は不安そうに黙り込んでしまった。訪問看護師としてどのような支援が必要か、書きなさい。

令3 高等学校看護 (4枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

V 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Dさん(28歳・初産婦)は、妊娠39週2日に3,400gの男児を正常分娩した。出血量は250ml、持続した出血はない。分娩2時間後、子宮底の位置は臍下1横指で、硬度は良好であった。

- 産褥1日目、Dさんは「トイレで小さい血の塊が一つ出た」と訴えた。その日のDさんの体温は36.8℃、脈拍は62回/分であった。子宮底の位置は臍下1横指で、昨日より少し柔らかくなっていた。このときのDさんへの対応として、適切なものはどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 授乳を中断するように勧める。 イ 腹部の温罨法をする。
 ウ ベッド上の安静を勧める。 エ 子宮底の輪状マッサージをする。
- 産褥3日目、Dさんは子宮収縮も良好である。乳房は軽度緊満しており、乳汁分泌もみられる。体温は37.0℃、血圧126/74mmHgであった。訪室時、Dさんは「体がだるいです。理由もなく涙が出ます」と訴えた。Dさんの状態として考えられるものはどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 産褥熱 イ 高血圧症 ウ 産後うつ病 エ マタニティブルーズ
- 産褥3日目頃には初乳がみられる。成乳と比較した初乳の特徴として正しいものには○、誤っているものには×を書きなさい。
 (1) ラクトアルブミンが少ない。 (2) IgAの含有量が多い。
 (3) 粘稠度が低い。 (4) 乳糖が少ない。
- Dさんから、乳房緊満と乳腺炎の違いについて質問があった。次の表の①～⑥に当てはまる語句をあとの【語群】ア～キから選んで、その符号で書きなさい。

項 目	乳房緊満	乳腺炎
時 期	①	②
部 位	③	④
腫脹・熱感	⑤	⑥

【語群】 ア 産褥早期 イ 産褥10日目以降 ウ 産褥1か月以降 エ 片側性
 オ 両側性 カ 全体的 キ 限局性

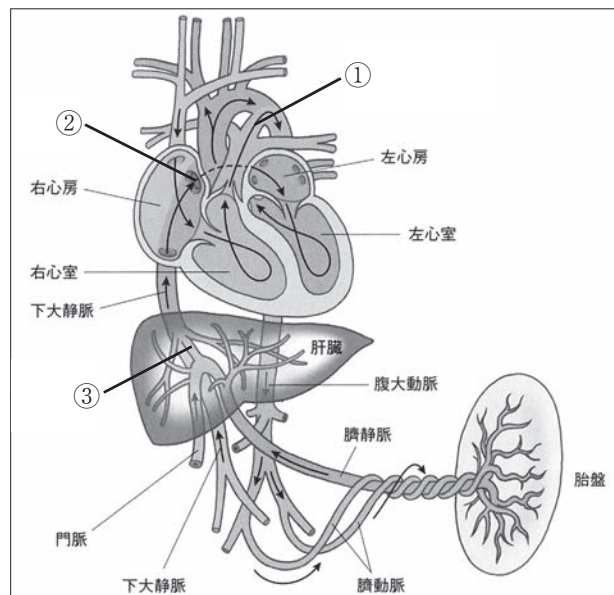
- 産褥5日目、母児ともに経過は順調で、本日退院予定である。Dさんの母乳分泌は良好である。児は3,480g、昨日は排尿8回、排便4回であった。Dさんは「家に帰っても母乳で育てたい」と言う。このときのDさんへの看護師の説明で正しいものはどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア 1日6回の授乳にする。 イ 昼間は乳房を冷湿布する。
 ウ 蛋白質を多く含む食品をとる。 エ 児の排尿は1日3回あればいい。

VI 次の事例を読んで、あとの問いに答えなさい。

Eさん(27歳・女性)は、妊娠中から胎児に先天性心疾患の疑いがあるとされていた。児は、出生後の検査の結果、ファロー四徴症と診断された。

- ファロー四徴症にみられる4病変を書きなさい。
- 右の図は胎児循環を表している。①～③に当てはまる名称を書きなさい。
- 児にみられる原始反射はどれですか。次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。
 ア パラシュート反応 イ モロー反射
 ウ ランドー反射 エ 体幹立ち直り反射
- 児はアルコールにより発赤がみられたため、皮膚消毒にクロルヘキシジン(ヒビテン)を使用することにした。5%グルコン酸クロルヘキシジン液(原液)を0.1%に希釈して1,000ml作成したい。必要な原液量は何mlですか。計算式と答を書きなさい。
- 2週間後、児の退院を前に、Eさんが「この子の病気は私のせいです。どのように育てていけばいいのかわからない。」と話した。看護師としてどのように対応するか、書きなさい。

図



令3 高等学校看護解答用紙 (4枚のうち4)

総計		

看護

I	1	2	3				
	4	5	6				
	7						
II	1	2	3	4			
	5						
III	1	①	②	③			
	2	主要な運動症状		事例に表された症状			
	3	(1)	(2)	(3)			
	4			5			
	6	【体位・姿勢】					
7	【理由】						
IV	1			2			
	3	(1)	(2)	(3)			
	4						
	5						
V	1			2			
	3	(1)	(2)	(3)	(4)		
	4	①	②	③	④	⑤	⑥
	5						
VI	1						
	2	①	②	③	3		
	4	【計算式】				【答】 _____ ml	
	5						

I		

II		

III		

IV		

V		

VI		

